

Lipoバッテリーお取り扱いについて

Lipoバッテリーは取り扱いを間違えると危険です。下記説明を十分に読み正しい使用方法にてお取り扱い頂きますようお願い申し上げます。

●充電後、すぐに使用しなかった場合。放電レート表記が25Cを超えるハイパワーバッテリーには添加剤が入っているため、内部の化学反応はやや不安定となっています。夏場は気温が高いため、化学反応が活性化するため、特に不安定となります。馴らしの終わっていない使用回数の少ないバッテリーなどは、充電後もしばらく電圧が上昇する場合があります。反対に、冬場では化学反応が鈍いためパワーが落ちたりしますが、状態は安定しやすくなります。

対策★使用直前に充電し、充電後すぐに使用する。

●環境変化による電池温度の上昇の場合。夏場に起きやすいのですが、室内で充電したバッテリーを屋外に持ち出した場合、気温変化による電池温度の上昇により電圧が上昇してしまう。

対策★屋外で使用する場合は屋外気温の条件下で充電し、すぐに使用する。

●バッテリーの温度が50度を超えた場合。炎天下でクーラーが切られた車内や直射日光が当たる場所などでバッテリーの温度が上昇し内部ゲルが気化した。対策★バッテリーを日陰で涼しい場所に置くようにする。電流に耐えられずバッテリー内部の電極ワイヤーが加熱し、リークスポットができて、内部ゲルが気化した。対策★放電が原因の場合は電流を低減するか、より高い出力の電池を使用する。

対策★充電が原因の場合は充電電流を下げる。

●充電4.15V以上の電圧を残したままで長期間保管した場合。放電レート表記が25C以下の場合は問題が起きないセルもありますが、放電レート表記が25Cを超えるハイパワーバッテリーには添加剤が入っているため、内部の化学反応はやや不安定で問題が起きやすい物が多いです。

対策★電池を使わない時は充電器のストレージモードを実行して下さい。ストレージモードは電圧が高い時は放電し、低い時は充電して各セルを保管に最適な3.7~3.8Vにするモードです。放電レート表記が25Cを超えるハイパワーバッテリーが一番安定する電圧は3.7~3.8Vですが、この電圧は自己放電で徐々に低下していきますので、全くバッテリーを使わない場合でも、2週間に一度は3.3Vを下回っていないか確認が必要です。3.3Vを下回った場合は再びストレージモードを実行して下さい。